



特集

変わり始めた 矢板駅西口エリア

かつてにぎわっていた地方都市の街なか（中心市街地）は、モータリゼーションの進展により、郊外への大型小売店の出店や住宅開発などにより人口が減少し、空洞化が深刻な問題となっています。本市においても同様に、街の顔というべき矢板駅西口エリアでは人口の流出や少子高齢化の進行により、空き地・空き店舗が増加するなど、まちの活力は低下しています。

このような現状を少しでも変えていこうと、商工会館の移転や矢板にぎわい館がオープンするなど、街なかの活気を取り戻すための動きが見られてきました。

今号では、にぎわい創出に向けて動き出した矢板駅西口エリアの様子をご紹介します。

矢板にぎわい館

“昭和レトロの雰囲気”が漂い、まるで異空間にいるように感じられる外観の「矢板にぎわい館」は、活気ある街なみづくりや交流促進を図りたいとの思いで（株）トーセンの東泉 清寿社長が整備しました。建物内は、外観のイメージとは異なり、木の温もりが感じられるよう、木材をふんだんに使用した造りになっています。

観光案内所、ゲストハウス（簡易宿所）、飲食店のほか、シェアキッチンや貸しスペースなど、利用する方の用途に応じた楽しみ方ができる施設です。

《矢板にぎわい館の主な施設案内》

観光案内所	観光案内、ゲストハウスのチェックイン受付窓口
ゲストハウス	山小屋をイメージした素泊まりの宿泊施設で共有ホール、シャワー、Wi-Fiも完備
カフェ＆スポーツバー	お酒を飲みながらスポーツ観戦できるバー。お昼はカフェ営業
シェアキッチン	厨房が備わり仲間でのパーティーや料理教室の開催もできるスペース
貸しスペース	グループでのミーティングや教室ができるスペース



観光案内所



シェアキッチン

ふるさと支援センター TAKIBI



TAKIBI スタッフ

TAKIBIは、“みんな、集まろ”をコンセプトに、地域内外の人がノウハウをつなげ、自分がやりたいことの実現を支援するためにつくられた拠点です。

現在、TAKIBIは矢板を盛り上げたい！という方が集まり、つながる場になりつつあります。シェアキッチンが利用できるほか、今後はテレワークができる環境整備を予定するなど、誰でも自由に利用できるコミュニティスペースづくりを進めています。

気軽に集まり、楽しみながら新しい矢板を一緒につくりませんか！

（TAKIBI スタッフ一同）



テレワークオフィス（現在準備中）

矢板市商工会館

商工会館の入口には、檜の大黒柱や樹齢約700年の杉板を壁に張るなど、古民家を思わせるようなエントランスホールがあります。商工会では、街なかの活性化や交流の場として、今後、矢板にゆかりのある芸術家などの作品展示やミニコンサートの開催を検討しています。このホールは、会員利用のほかにも、市民の皆さんの憩いの場として自由に利用できる空間となっているので、気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。



エントランスホール

新たな動きも…

矢板駅西口エリアにはほかにも、空き店舗を使用してお店を開いたり、趣味を生かして何かを始めようと考えている方もいるなど、少しずつですが“新たな動き”があります。

ぜひ皆さんも変わり始めた矢板駅西口エリアに足を運んで、街なかのにぎわいづくりの一人になってみませんか？



カフェ＆スポーツバー



ゲストハウス

オープン以降、にぎわい館の外観が目にとまって、立ち寄ってくださる遠方からの旅行者も増えてきています。

普段は、矢板市内を中心にカヤック体験などのアウトドアイトとして活動し、自然と人をつなげる仕事をしていますが、観光案内所では矢板の魅力を沢山のの人に伝え、人と人とのつながりを作っていければと思っています。また、にぎわい館をきっかけに出会った方たちと一緒にイベントを企画するなど、コミュニティ拠点として“楽しめる街づくり”にもつなげていければと考えています。

にぎわい館には、オシャレなカフェ＆スポーツバーやグループで利用できるシェアキッチンなどもあるので、友人や仲間を利用するほかにも、多くの方との出会いや交流の場になればと思っています。



【観光案内所・ゲストハウス担当】
Omuche（オムーチェ）
漆原 邦和さん